

## もう、悩まない！『石原健のHOTEL LOVERS』

## ～有機的な人の魅力あふれているホテルを街に作り出していくことで、街に溶け込む～ 世界の湘南へ、世界に通じるものを発信し、 “湘南”ブランドを高めていきたい

2007年3月設立以来、人それぞれが『より』自分らしく『より』快適で、『より』高揚感にあふれた日常生活を過ごすために、必要な商品やサービスを考え、作り、提供し続けている湘南レーベル(株)。湘南のビーチカルチャーをベースとしたライフスタイルの魅力を国内にとどまることなく世界に発信し、世界から認知、注目される湘南に成長させていきたいという熱い思いで、チベット放浪やソムリエ資格取得などさまざまな経験、体験を軸に“有機的な人の魅力があふれるホテルを街に作り出していきたい”と挑んでいるのが、松山竜造ホテル事業部長だ。



湘南レーベル(株)  
ホテル事業部長  
松山 竜造 氏

〒251-0035神奈川県藤沢市片瀬海岸1-13-18  
URL: <https://shonan-label.com>  
(プロフィール) 1973年1月23日生まれ。岐阜県岐阜市出身。岐阜北高校、明治大学商学部卒業後、横浜・ホテルニューグランド、東京・銀座東急ホテルでアルバイト。チベットなど放浪の旅から帰国後、新横浜プリンスホテルにてレストラン勤務、ソムリエを取得。2000年(株)ゼットン入社。客単価700円～5万円までさまざまな業態にかかわり、人材育成にも注力。国内外約70店舗を運営する中、都心のダイニング店舗を統括する事業部長や横浜マリントワー 総支配人などの要職を歴任。2019年7月、「社長と竜造」のタイトルでフジテレビ「ザ・ノンフィクション」に出演、葛西臨海公園プロジェクトが特集された。2020年、湘南レーベル(株)に転職、「8 HOTEL CHIGASAKI」の立ち上げに関わり、開業時には支配人も兼務。現在はハイエンドの「KAMAKURA HOTEL」、カジュアルリッチの「8 HOTEL」、ビジネスの「35 HOTEL」など、さまざまな業態のホテル6店舗の統括として管轄。目的来店型のホテルの姿を模索しながらホテル運営を行なっている。

### 夜10時から朝まで働いた ウエイターアルバイト

**石原** 松山事業部長と出会ったのはゼットンが「横浜マリントワー」の運営に携わっていたときです。かつての同僚がバーの支配人に着任したので訪問したときの「ミズマチバー」です。その後、ワインセミナーの講師としてお招きいただき月2回実施していたことから親しくなり、今日に至ります。はじめにホテル業界に一步踏み出したきっかけをお聞かせください。

**松山** ホテルマンとして従事したのは現在の会社からとなりますが、学生時代にホテルでの料飲部門での仕事に魅せられ、横浜のホテルニューグランドや当時、著名人や業界の重鎮たちが参集する社交場的な銀座東急ホテルでウエイターのアルバイトをしていたというホテル経験があります。銀座東急ホテルでは24時間営業レストラン「O-24 (オーツーフォー)」で夜10時から朝まで、学生時代3年間ウエイターとして務めました。同居していた兄が交通事故で車いす生活となってしまったため、兄のケアも任せられていたもので、アルバイトがメインとなり、大学へ行く時間も少なくなりました。実生活からの区切りとして気分一新しようという思いで、大学4年生のとき休学し、アルバイトで貯めた貯金で半年間放浪の旅に出たのです。横浜から上海まで鑑真号で

の片道切符、その後、チベット、ネパール、インド、タイを周遊して、ちょうど半年後に帰国しました。

**石原** 横浜マリントワーでお会いしたときに、“若いのにしっかりしている”という印象でした。はじめは私と同じ年、もしくは少し上ぐらいと思っていたのですが、8歳年下であることが分かったとき、驚きました。私が大学生のときに小学生、そう考えるととてもそう見えない落ち着きと風格を感じました。その背景には学生時代のアルバイトや放浪の旅の経験があったのです。ところで帰国後、ソムリエを取得されていますね。なぜ、ソムリエに挑戦されたのですか。

**松山** ワインの選定はお客さまによりそれぞれ異なります。銘柄を指定されるお客さまもいらっしゃいますが、“そうそう、それ”“そう、こんな気分”など、お勧めするワインにより反応が異なります。ソムリエはお料理とのバランスも大切なことですが、お客さまの気分やシチュエーションを考えて納得いただけるワインをご提案し、“そうそう、これこれ”と納得いただける偶然の出会いの場を作り出す仲介役でもあります。そこに魅力を感じたことがソムリエへチャレンジのきっかけとなりました。

### 名古屋で偶然出会ったゼットン現社長

**石原** 確かにワインは1本数万円でもソ



ムリエの腕次第で販売することができ、お客さまとより近いサービスを提供することができます。そして2000年にゼットンに入社されたわけですが、入社に至る経緯をお聞かせください。

**松山** ソムリエとしてもっと研鑽したいと、フランスへ行きたいと思っていたときに、偶然、学生時代の先輩であり、ゼットンの現社長である鈴木さんと出会いました。名古屋で友人のお笑い芸人“ダイノジ”大谷君のライブを観に行った際のすき間時間に、知らずに立ち寄った「ODEON」のカウンターに鈴木さんが立っておられたのです。そして、そこで見た光景は“ホテルでは生まれぬ働くスタッフとお客さまの融会的な関係”だったのです。マニュアルではない、本当にお客さまと一線を画さない、ゼットンのお客さまイコール友人、という近い距離感です。その距離感から生まれるあたたかな雰囲気、そして何よりもスタッフ皆が輝いていたのです。それからです。鈴木社長とともに20年間走り続け、人材育成から事業部長、総支配人など、さまざまな経験をさせていただきました。

### 転居後、偶然に訪れた湘南の すてきなカフェ

**石原** その後、現在の湘南レーベルに転職されました。

**松山** きっかけは湘南に転居したことに

始まります。妻の実家は湘南から直線につながる相模原、私は当時、東京・田町が勤務先だったので、双方ともに湘南は便利な場所だったのです。そして転居後、偶然に訪れたすてきなカフェが「8ラウンジ」という「8ホテルFUJISAWA」の1階のカフェだったのです。その後、転職のお話をいただき、ご縁を強く感じたことと、湘南という土地の魅力を発揮している会社に貢献したいという思いから決意しました。

**石原** 鈴木社長、湘南レーベルと、まさに偶然の出会いですね。今、ホテルマンとして指揮されているわけですが、どのようなことに取り組まれていますか。

**松山** 料飲経験をベースにしながらも、ホテルマンではなかったからこそできることを追求しています。FBはお客さまとのお付き合いの時間は2、3時間です。その場にいればリカバーすることができます。ところが宿泊は一人のお客さまとともにする時間が長いです。FBのように単独ではリカバーすることはできません。ベストな運営を行なうためには緻密なチームワークプレーが必要です。また地元の方々に愛されるホテルであり続けるためには地域とのコミュニケーションも欠かせません。現在、3業態のホテルを展開していますが、“湘南レーベルがあって良かった”と言われる

ホテルでありたいと思います。おかげさまで地域の方々も気楽に立ち寄りいただけるコミュニケーションホテルにもなり、元学校の教員の方の有機栽培やおみこしの話など、地域ならではの情報や個々の趣味など、さまざまなお話が伺えるようになりました。

### ハイブランドでも楽しく、 安心、気楽なホテル目指す

**石原** 松山事業部長のお人柄があってこそ、地域コミュニケーションですね。最後に今後のビジョンをお聞かせください。

**松山** 運営するホテルのキャラクターを明確にし、ブランド力を高めることです。ていねいに、カジュアルはもとよりハイブランドでも楽しく、安心、気楽に過ごせるなど、居心地の良さを追求するとともに、有機的な人の魅力あふれているホテルを街に作り出していくことで、街に溶け込んでいきたいと思っています。そして日本にとどまることなく、世界の湘南へ、世界に通じるものを発信し、“湘南”というブランドを高めていきたいと思っています。

**石原** 素晴らしいです。これまでの経験、そして偶然の再会や出会いなどを通しての、さらなる飛躍を大いに期待しております。

### (株)ホスピタリティデザイン 横浜 代表取締役 石原 健氏



URL: <https://www.hospdy.com/>

(プロフィール) 桜美林大学経済学部卒業/日本ホテルスクール卒業/ホテル産業経営塾卒塾(第一期生)。ホテル センチュリー ハイアット(現ハイアットリージェンシー東京)で4年のキャリアを積み、1989(平成元年)年、ヨコハマブランド インターコンチネンタル ホテルの開業準備室に、第1期生として入社。開業後は主にセールスとして活動。39歳で販売担当部長となり、宿泊、宴会、婚礼、レストラン、イベント等の全ての販売を行なう。国内外からのVIPに対するおもてなしを行ない、4度にわたる皇室接遇担当の榮譽も授かる。また横浜青年会議所(JCI)のメンバーとしても活動し、2004年には100%出席賞を受賞。東日本大震災後、ウェスティンホテル仙台へ赴任、セールス&マーケティング部長として、総支配人の不在時には代行も務め、3年2カ月間復興支援の一端を担う。2014(平成26)年、(株)ホスピタリティデザイン 横浜を設立、代表取締役に就任、現在に至る。厚生労働省 事業検討会委員、ホスピタリティ教育研究会 会長、産業能率大学 兼任教員など、宿泊・サービス業界団体や学校、企業などで活躍中。